

令和5年度 事業報告書

2024.2.26 β 本町橋共同事業体



β HOMMACHIBASHI

日常をアップデートする景色に出会おう

I. 事業の実施状況

- ・ 1. 水辺・まち・人をつなぐ飲食・物販
- ・ 2. やりたいを実現するレンタル・シェアスペース
- ・ 3. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業
- ・ 4. 駐車場事業
- ・ 5. 維持管理事業
- ・ 6. 地域連携事業 清掃活動実績
- ・ 7. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業
- ・ 8. 広報活動

II. まとめ

- ・ 1. 全体の利用状況
- ・ 2. 事業効果（成果と課題）について

Ⅰ. 事業の実施状況 1. 水辺・まち・人をつなぐ飲食・物販

こだわりの飲食・物販と、水辺・まち・人をつなぐコミュニケーションのハブとなるカワフロア

- β本町橋に関わるまち・水辺・公園・舟運の全ての相談窓口として機能しており、水辺・まち・人をつなぐコミュニケーションのハブとして運営。
- 施設の1階（東横堀川に面したカワフロア）では、多様な主体のチャレンジの場としてシェアキッチンによるランチ提供を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、来館者の裾野を広げるとともに、貸館利用と合わせた飲食・交流需要の高まりに対応するべく、**常設の飲食店化・営業時間を昼のみから夜まで延長し、飲食部門の強化**を行なった。
 - ー試行期間：4月～8月（ランチ営業及び予約制の宴会対応）9月～10月（飲食パートナー募集・常設店舗準備）
 - ー本格始動：11月～（ランチ・ディナー営業）
- 水辺の特性を活かし、**春から秋の屋外を楽しめる季節に屋外テラス席**を5テーブル設置した。（2023/4/21～11/21（7ヶ月））
- 物販では**β本町橋や本町橋のオリジナルグッズを販売**している。
- 2023年4月～2024年1月末までで、**延べ10,866人が利用**。

【営業日】

水曜日～月曜日（定休日：火曜/カフェ・ダイニングは月曜火曜）

臨時休業：2023/4/3(月)-5(水), 5/22(月)

夏季休業：2023/8/11(金)-2023/8/15(火)

年末年始休業：2023/12/28(木)-2024/1/5(金)

【営業時間】 ※2024年2月1日時点

ショップ・相談：11時～18時

レンタルスペース：10時～21時（予約に応じて）

カフェ＆ダイニング：11時30分～22時（日曜：11時～17時）

【運営体制】

一般社団法人水辺ラボ 飲食運営担当会社 VELVET VIRGO



ゆっくり飲食できる客席スペース



川やまちに関わる人々の交流の場に



季節のいい時期を楽しんだ屋外スペース



11月からスタートしたランチ

I. 事業の実施状況 1. 水辺・まち・人をつなぐ飲食・物販

β GRILL

- 都心部の水辺という貴重なオープンエアで楽しめるβ本町橋の立地を生かし、岩谷産業のアウトドア用のカセットコンロを使用した予約制のディナーイベントを実施。

【実施時期】

2023/4/21~8/27

【連携】

- ・岩谷産業（機材提供・PR連携）
- ・Y'sDining（料理）



BBQではなくコース仕立てで
オリジナリティを

Party Plan

- 周辺は小規模の飲食店が多いエリアのため、大人数や会議等の貸館利用と合わせた交流需要に対応。50名以上のビュッフェパーティもできる体制を整えた。

PARTY PLAN

※お持ち帰り可です。

LIGHT PLAN ¥2500	BASIC PLAN ¥5500	WEDDING PLAN ¥6000
BEEF PLAN ¥7000	SPECIAL PLAN ¥8500	RELAX VINO PLAN ¥9000

BASIC PLAN
ベークタ ¥5500

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

SPECIAL PLAN
特別 ¥8500

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

WEDDING PLAN ¥6000~

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

BEEF PLAN
ビーフ焼肉 ¥7000

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

LIGHT PLAN
軽食 ¥2500

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

FREE DRINK MENU

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

（お持ち帰り可）※お持ち帰り可です。

まちの魅力を発信するグッズ制作

・本町橋グッズ(絵葉書・コースター)

2022年10月にイケフェス大阪で展示した本町橋の手書き図面を基にデザインした、絵葉書4種とコースター2種を制作。キオスクで販売中。

・シルクスクリーン

β本町橋の建物や東横堀川に棲む生物をモチーフにしたシルクスクリーンの版を7種作成。8月の2周年行事や10月のオータムフェス、11月に開催された座・御堂筋のイベント出展にてシルクスクリーンワークショップを開催した。



写真左：本町橋オリジナルグッズ
(ポストカード・ミニカード)
写真右：シルクスクリーン
(ワークショップの様子)

■次年度の方針

- ・周辺は小規模飲食店が多いエリアのため、大人数や会議等の貸館利用と合わせた宴会や全館利用のニーズに対応しつつ、夜の営業にも注力する。
- ・気軽な来訪者や来街者が手に取りやすい、水辺やまちに興味を持ってもらえるオリジナルグッズなどの物販を拡充する。

スタートアップ支援するシェアオフィス・活動拠点としてのレンタルスペース定期利用

- ・β本町橋のレンタルスペースやオフィスをフィールドに多様な活動を展開するメンバーを支援。
- ・定期利用者が増加。親子や子ども対象の活動が充実した。

レンタルスペースの定期利用の増加

- ・β本町橋を拠点に様々な活動を行う個人・団体が増加。
- ・従来のヨガ教室の定期利用が1組から3組に増加。
- ・親子対象の活動や小学生・中学生など子どもを対象とした活動の拠点としての定期利用が広がっている。

定期利用者・団体の主な活動

- ・NPO音楽文化芸術振興会(小中学生の音楽活動/毎週水曜日)
- ・humanアカデミー(小学生対象の科学実験教室/月4回)
- ・ヨガ教室(ママと子どもの親子ヨガ/毎週木曜日)
- ・リトミック教室(赤ちゃん対象/月1回)
- ・サクヤヒメSDGS研究会(働く女性の研究会/月1回)
- ・カリグラフィー教室(月1回) など



NPO音楽文化芸術振興会 本町キッズ楽団(毎週水曜日に活動)



リトミック教室



クルーメンバーが自ら企画した結婚式



クルーメンバーによる視察報告会

シェアオフィス

- ・2023年4月～2024年3月末の契約は5事業者。
- ・作業スペースや郵便受け取りなど純粋なシェアオフィスの機能だけではなく、シェアオフィスメンバーの活動の場として館内を使用できるようにするなど、チャレンジを応援している。
- ・β本町橋の活動に賛同・協力を前提に、β本町橋の乗組員（クルー）としてお掃除活動や地域イベントにも参画。自主企画のイベントも実施。

■次年度の方針 ・クルー登録の追加募集やレンタルスペースの定期利用を増やし、平日昼の利用を促進する。

1. 事業の実施状況 2. やりたいを実現するレンタル・シェアスペース ②ラボ・ルーム（ウエ）

みんなの「やりたい」を実現するレンタルスペース・ツール

- 目的や利用人数に合わせて使えるレンタルスペースや小商のためのツールを用意。利用者の要望に柔軟に対応し活用を受け入れている。
- 「調査研究」「子ども」「環境・SDGs」「地域活動」など、β本町橋の目的に資する活動については、公益目的料金を設け、一般利用料金よりも安価で利用を受け付け、活動しやすい環境をサポートしている。

ラボ

- 2023年4月～1月末の延べ予約件数：166件、稼働率：22.5%（1日11時間×25日×10ヶ月）。
- レンタルスペースの中で一番広いラボは、今年度より子どもの活動場所としての定期利用されている。会議・研修利用や若手起業家の交流会、マルシェ、展示会など多くの方が参加するイベントなどで幅広く利用されている。
- 予約利用がない時間帯は、地域の子どもの遊び場や、公園利用者の休憩スペース、飲食スペースとして開放し、活用いただいている。



本町橋界隈の歴史を学ぶセミナー



地域イベントの場として活用



結婚式

利用内容	回数
教室利用	56
会議・研修	54
イベント（予約制）	18
グループでの私的利用（食事）	17
パーティ	6
イベント（当日参加）	6
展示会	4
撮影	4
結婚式	1

ルーム

- 2023年4月～2024年1月末の延べ予約件数156件、定期利用が140回、稼働率15.3%。
- ルームは、定期的な教室としての利用が90%で、それ以外は少人数グループでのプライベート利用、ラボ利用時の控室などに利用されている。
- 定期利用者が昨年の1組から5組に増加。ヨガ教室が3組、子どもの教室が1組、母子の教室が1組となっている。



公園愛護会のミーティング

利用内容	回数
教室	140
会議	5
イベント（予約制）	3
控室	3
交流会	2
授業	2
ワークショップ	1

- 次年度の方針
- 安定した利用を確立するために、ルームを中心に各種教室などの定期利用を拡充する。
 - レンタルスペースと飲食と組み合わせによる相乗効果による稼働率の向上を行う。
 - レンタルスペースポータルサイトなどを効率よく活用し、稼働率を向上する。

1. 事業の実施状況 2. やりたいを実現するレンタル・シェアスペース ③その他

全館レンタル

- 2023年4月～2024年3月末の延べ予約件数：12件、結婚式以外にもイベントや学校連携の展示に利用された。
- β本町橋主催イベントの会場としても活用。
- 公園まで含めた利用のお手伝いを行った。



結婚式



展示会(学校連携)

利用内容	回数
イベント（当日参加可）	6
展示会	3
結婚式	2
イベント（予約制）	3

β屋台

- 2023年4月～2024年1月末の延べ予約件数：65件、β本町橋主催イベントでの延べ利用件数：12件。
- 6月から水曜日の野菜販売を開始。
- β本町橋から離れた場所での飲食販売以外にも、本を介したコミュニティづくりを行う古本屋台など、新たな利用が広がっている。



紀の川市の産直野菜販売(毎週水曜日)



橋の下音楽祭の屋台出展(飲食)



古本屋台（物販）

利用内容	回数
野菜販売	32
飲食	17
物販	10
受付	3
社会実験	2
体験	1

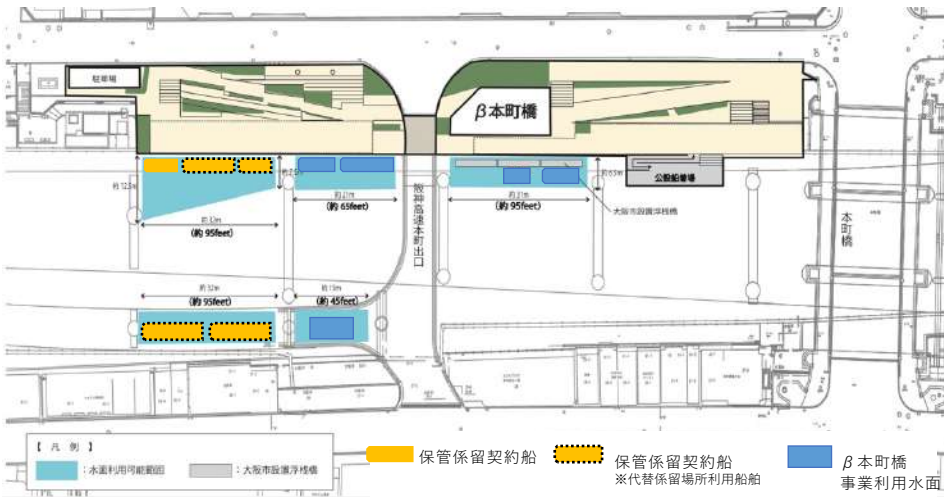
- 次年度の方針
- カワフロアや屋外、水上と一体となったここでしかできないウェディングなどのハレの日の利用誘致を強化し付加価値のある全館貸しを拡充する。
 - 屋台・物販などの受け入れは、継続性やコミュニケーションの誘発度などの高いものを優先し、活動がエリアの魅力につながる取り組みを伸ばしていく。

東横堀川の特徴を活かし、都市の水辺ならではの可能性を拓く保管係留

- 舟運活性化に寄与するため、契約船舶が常時係留できる施設として運営している。

①保管係留

- 小型船を対象として保管係留を実施。4事業者・5艇と保管係留契約を継続。
- 東横堀川水門工事、本町橋～農人橋間の護岸工事により、船の航行が難しい期間が生じるため、大阪市建設局・係留事業者の内代替利用希望者と相談の上、農人橋～久宝寺橋の東側にて代替係留場所を確保いただき、係留事業を継続できている。（23年11月13日より、5艇中4艇が代替係留場所を利用中）
- 新規係留希望の問合せを多数いただくが、事業可能範囲内の水面は全て利活用しており、これ以上の受け入れが難しい状況にある。



②β前浮棧橋 一時利用

- 2023年6月29日（木）には、大阪松竹座の7月大歌舞伎、3年ぶりの船乗り込みに協力した。



歌舞伎の船乗り込みで賑わう水辺



保管係留している船舶（施設北側公園の護岸）

■次年度の方針

- 現時点で事業可能水面は全て活用が済み、今後万博に向けた係留ニーズの拡大に応じて、係留可能区域の拡大を図りたい。
- 次年度も各種工事が実施されることから、十分に協議調整とご協力をいただきながら、保管係留事業の継続的な実施を図る。
- 万博開催時における一時係留対応などを見据え、浮棧橋を利活用した社会実験などに係る一時係留の受け入れなどを引き続き積極的に行いながら、舟運の活性化に寄与する仕組みづくりを進める。

東横堀川の水辺の特徴を最大限に活かした人力船による水上アクティビティ拠点

- 東横堀川の全天候型の立地を生かし、通年を通して雨天時も暑い日も楽しめる都市型の新しい水上アクティビティ拠点として運営。
- 季節や体験できる時間に合わせて選べる多様なプログラムを用意し、大阪府外・国内外から幅広い年齢層の方に利用されている。
- 昨年度に引き続き、大阪ECO動物海洋専門学校の授業の開催を毎週行うとともに、親子対象の水環境を学ぶ体験会の受け入れ、大阪府高齢者大学へのレクチャー体験など教育分野にも貢献。
- 水上ピクニックでは団体予約も受け入れた。
- 2023年4月～2024年1月末で延べ1,912人が水上アクティビティを利用。

■利用者数詳細

	①水上ピクニック	②1人乗りサップ教室	③水上自転車	④ガイドツアー	⑤手こぎ天国	⑥その他	月別合計
2023年4月	18	2	8	60	2	0	90
2023年5月	14	10	8	81	4	0	117
2023年6月	40	2	4	99	1	35	181
2023年7月	103	4	9	85	6	0	207
2023年8月	75		6	107	1	195	384
2023年9月	88		5	143	0	0	236
2023年10月	43		2	82	18	99	244
2023年11月	61		0	81	6	27	175
2023年12月	61		0	62		0	123
2024年1月	76			71	8	0	155
種別合計	579	18	42	871	46	356	1912



2回目を迎え盛況のサップレース“スギサップ杯”



満席になる程人気の冬のこたつ水上ピクニック



水上のゴミを拾う学生さん



80人が参加した親子で水の流れを学ぶツアー

1. 事業の実施状況 3. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業 ②人力船事業

①水上ピクニック

- ・フロートを施設前に浮かべ、ボートの上でピクニックを楽しんでもらう貸しボート。12/9～3/17は豆炭こたつを乗せた「こたつ水上ピクニック」になる。
- ・飲食物は持込自由。カセットコンロなどのレンタルもご用意。

【時間】

11:15/11:45/14:15/14:45
(土日祝は11～15時の1時間
間に1回転)
(体験時間90分)
※20分のミニ体験有

【定員】

・4名



より立派な設えになった水上ピクニック

④ガイドツアー

- ・フロートにガイドと一緒に乗って川の見所など説明を受けながら手漕ぎ体験が楽しめる。
- ・水の回廊を1周するコースと観光客に人気の道頓堀川コースの2種類。
- ・12/9～3/17は豆炭こたつを乗せた「こたつボート」になる。

【コース・時間】

- ①一周：β本町橋～土佐堀川～木津川～道頓堀川～湊町船着場
時間：9:15(約3時間)
- ②道頓堀：β本町橋～湊町船着場(片道)
時間：(60分)
β本町橋発：11:00/14:00
湊町発：12:30/15:30



国内外から人気のガイドツアー

②1人乗りサップ教室 (サップで水上さんぽ)

- ・サップを楽しみながら漕行ルールを学べるスクール形式のアクティビティ体験
- ・初心者向けのレッスン
【コース】β本町橋周辺
【時間】・11:30/13:30/15:30 (体験時間60分)
※2023年7月より一旦終了、2024年4月から再開予定。



お子さんも一緒に楽しめるサップ教室

⑤手漕ぎ天国

- ・歩行者天国の水上バージョンで、東横堀川～道頓堀川を船舶が航行しない早朝にカヌーやカヤック、サップ等の手漕ぎ船が利用できる
- ・利用は自己管理できる経験者に限定
【範囲】
・平野橋～β本町橋～日吉橋
【開催時期・時間】
・時期：12月以外毎月最終日曜
・時間：6:30～9:00



早朝に水上を楽しむテコテン

③水上自転車 (バイクで水上さんぽ)

- ・1人乗りと2人乗りから選べる水上自転車体験。
- ・体験時間の前半はレッスン、後半はフリータイムで楽しめ、最後には修了証を発行する。
【コース】β本町橋周辺 (体験時間60分)
【時間】・11:30/13:30/15:30
※2023年12月で終了、今後は未定。



取材でも使われる水上自転車

⑥その他

- ・β本町橋イベントや季節に合わせた体験プログラムを開催。
- ・毎週の授業や親子体験ツアーなど教育分野とも連携を行なった。

【体験プログラム実施内容】

- ・8/27：ペットボトルすくい(β本町橋2st AnniversaryFes)
- ・10/22:水上運動会(東横堀川オータムフェス)
- 【学びの連携】
- ・大阪ECO動物海洋専門学校1,2年生：前期・後期授業の実施
- ・(一財)環境事業協会主催 親子体験会「MIZUBEキャラバン」への協力
- ・大阪市水道局・建設局主催 小学生の親子対象「水の流れツアー」への協力
- ・大阪府高齢者大学のレクチャーと体験会
- ・修学旅行の受入

■次年度の方針 ．より多くの方に水都大阪の魅力を知っていただくため、旅行会社とも協力しながら観光客誘致を強化する。

気軽に非日常を 誰でも楽しめる身近なクルーズを展開

- ・β本町橋のイベントに合わせて誰でも気軽に楽しめる価格帯でミニクルーズを行うことで、**地域の方や子どもたちでも身近にクルーズを体験**することができた。
- ・東横堀川水門および本町橋～農人橋間の護岸耐震改修工事によって船の航行が制限されたことと、新艇導入の準備期間であったことから、季節の乗合クルーズなどは実施できなかった。
- ・新艇では、インバウンドやハイエンドな利用者層をターゲットとし、船内のカウンター席で鉄板焼き（ステーキなど）を楽しめるよう準備を進めている。

①イベントクルーズ

- ・β本町橋のイベントに合わせて気軽に乗れるクルーズを実施。
- ・子どもだけでも楽しめることで人気を集めた。

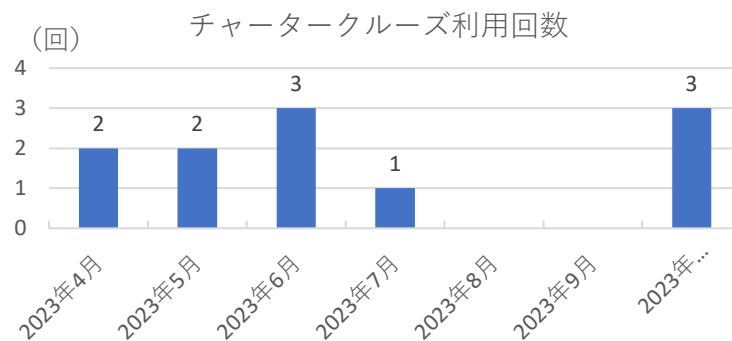
【実施日】

- ・2023年8月27日…36名
- ・2024年3月20日（川びらき開催の予定）



②チャータークルーズ

- ・家族や友人など、限られたメンバーでより安全に気兼ねなく楽しめる水上のプライベート空間を演出。パーティなどにも対応。



③新艇アルデ・ルーク号

- ・五感を刺激する鉄板焼をカウンターで楽しめる新艇をこの春より運行予定。
- ・β本町橋より大川（大阪城・中之島）を巡り戻って来る間にコース料理を楽しめるプランを予定。



■次年度の方針 ・春頃に新艇運行をスタート予定。鉄板カウンターで食を楽しみながらのクルーズでインバウンドやハイエンドな利用者層向けの特別なクルーズを実施する。

設置運営を行う駐車場事業及び維持管理事業は周辺環境に配慮し適正に維持管理を実施。

① 駐車場

- 駐車場として、精算機・駐車場設備を導入し、時間貸し駐車場運営を実施継続中。
- 2023年4月から2024年1月までの利用総数は7,475台。
- 2023年は2022年と同様、ひと月あたり約700回と安定した出庫件数となっている。

【事業概要】

- 営業時間：24時間365日稼働（メンテナンス等以外は年中無休）
- 駐車場台数：7台

【委託事業者】

- ショウワ電技研（株）

② 維持管理事業

- 「本町橋BASE」にぎわい創出拠点・管理運営事業に係る維持管理等に関する協定（案）に基づき、公園と水面を快適に維持管理する日常管理を実施。
- 日常管理の一環として、18頁に記載の地域と連携した清掃活動を実施し、単なる維持管理のための清掃ではなく、清掃を通して地域住民らとのコミュニケーションの機会を創出している。



I. 事業の実施状況 6. 地域連携事業 ①主催イベント

地域と連携したまち・人・水辺をつなぐ主催イベント

- 東横堀川水辺再生協議会など地域関係団体や東横堀川界隈の店舗・事業者・アーティストと連携し、まち・人・水辺をつなぐ地域連携イベントを春と秋の季節の良い時期に開催。
- 地域の方や関係者など広く参加いただけるオープンなプログラムを開催し、まち・人・水辺につながるきっかけづくりを行った。
- β本町橋での事業や取り組みを地域や社会に知っていただく機会として1周年記念イベント時にβ本町橋の想いや利用者からの声、1年間の歩みを振り返る写真などを展示した。

A.東横堀川 川びらき

- イベントが始まる前に、地域の方と一緒に公園と水上（サップに乗って清掃・予約制）のお掃除を実施。
- 少彦名神社宮司・斎主による川の安全祈願のお祓いを実施。
- キッチンパートナーや地域の方による屋台出店や地域の方の落語寄席、ジャズ演奏会に大学連携をした学生の発表など、地域やβ本町橋の面白さを体感できる機会となった。
- 来場者：330名

【実施時期】 2023年3月21日10:30～16:30

2024年3月20日（水祝）10:30～16:30（予定）

【出店組数】 2023年：屋台出店6組、WS 2つ、発表(演奏・落語)：4組
2024年：調整中



2023年のチラシ



安全祈願の神事



たくさんの人で賑わう様子



大学生のプロジェクト発表



素敵なJAZZ演奏に耳を傾ける様子

B.東横堀川オータムフェス（水上運動会）

- 水辺の運動会をメインテーマに、食・産直マルシェなどの秋らしさを満喫できるイベントとして行った。
- 水上ではサップによる運動会、公園では子どもたちの縁日やバスケットシュートなどを行った。
- 館内シタは屋台出店や休憩スペースとし、ウエはジャズライブを行った。
- 来場者：250名

【実施時期】 2023年10月22日



βスタッフもレースに初参加



前回よりも参加者が多かったスギサップ杯（サップレース）



バスケットシュートは子どもたちにも人気



野菜販売は大人に大人気

I. 事業の実施状況 6. 地域連携事業 ②地域イベントへの参加

近隣地域の人気イベントに水辺の拠点として参加

- 船場エリアや大阪市内で開催されている人気のイベントに、β本町橋もプログラムを開催して参加。
- 地域の方や関係者はもちろん、各イベントのファンの方や普段β本町橋に来られない方など新たな層へもβ本町橋を知っていただく機会となった。

A.船場博覧会

- 7日間にわたって開催される船場博覧会の1プログラムとして、東横堀川水辺再生協議会主催でワークショップを開催。
- β本町橋のウエ・ラボで和菓子作りワークショップを行った。

【実施時期】2023年11月23日

【実施内容】・福原印房 福原周次氏による篆刻教室の開催
・予約制、20名の開催となった。

【連携】船場博覧会実行委員会



B.生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 “イケフェス大阪”

- 毎年秋の週末に大阪の魅力ある建築を一斉に無料公開する日本最大級の建築イベントに参加。
- 建築としては「ウッドデザイン賞2022」を受賞しており、建物が魅力的であることはもちろんのこと、大阪の都市の魅力を語るべく、β本町橋ならではの展示を行った。

【実施時期】2023年10月28日・29日

【実施内容】・設計者や運営者が在館し、直接話が聞ける時間を確保
・本町橋の図面やβ本町橋付近の江戸時代から現在に至るまでの古地図や写真を展示
・阿久井康平先生による（大阪公立大学）橋のトークセミナー(28日)



事業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主催イベント			川びらき ◎					2周年 ◎		オータムフェス ◎		
地域イベント参加										イケフェス大阪 ◎	船場博覧会 ◎	

■次年度の方針

- 地域と連携した主催イベントは春・秋に定期開催を継続し、地域のイベントとして定着するよう周知・参加を推進する。
- 船場エリアとの連携や、継続されている文化的なイベントなどには積極的に参画し、β本町橋の活用を広げる。

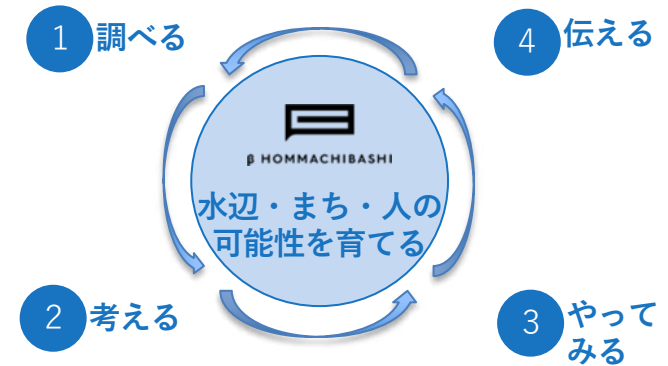
I. 事業の実施状況 7. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益目的事業）①学校連携

水辺・まち・人の可能性を育てるエンジンとしての事業活動

- β本町橋は、①調査や研究を通して調べ、②まちづくりやエリアマネジメントについて考える、③多様な主体とともにまちの課題解決や新たな価値の創造に向けてやってみる、④①～③を通じて得た知見や水辺・まち・人の魅力を伝えることサイクルのもと、公益的な事業として水辺ラボ事業を展開している。

学校連携プロジェクト

- β本町橋だけでなく河川や公園をフィールドに、学校と連携したプロジェクトに協力した。
- 学生の「やってみたい」気持ちを応援し、備品の貸出や場所の提供、行政等との調整など実現までのサポートを行い、学生主体のプロジェクトを実施することができた。



連携先	内容
同志社女子大学 現代社会学部 日下ゼミ	・ゼミ活動の場として8月30日～31日までの二日間、β本町橋のキッチンやレンタルスペースを利用した。 グループごとに企画したメニューの買い物は天神橋筋商店街で行い、商店街の取材、その食材を使って調理、シェアダイニング体験、編集会議などを行った。商店街の店舗の紹介や開発したレシピは「水辺のシェアダイニング」として冊子にまとめられた。
大阪ECO動物海洋専門学校	・学生たちによる公園のゴミの調査やゴミを捨てないようにするための取り組みとして、β本町橋周りのゴミを拾い、どこにどんなゴミが捨てられているのかを調査した。 ・ゴミを捨てない啓発としてグッズ制作を検討中
大阪成蹊大学芸術学部 造形芸術学科 バーチャルメディア・ボイスクリエーターコース	・β本町橋のプロモーションをテーマに、学生たちが企画から撮影・編集までを動画をいくつか制作した。 ・β本町橋を舞台にした1分未満の短編映画(ドラマCM)を制作。20作品のうち選ばれた3作品の撮影を12/12に行った。東映の役者さんも出演。 ・3年生の研究課題の展示会を9/22-9/24まで開催した



大阪成蹊大学 3年生展の様子



ドラマCM撮影中の成蹊大学のみなさん

I. 事業の実施状況 7. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益目的事業）②子ども

A.βタウンエディターズ

- 地域の小学生や保護者とともに、子どもたちが主役のプロジェクトとして“βタウンエディターズ”の活動を継続している。
- 子どもたちが行ってみたい地域のお店やスポットなどに取材を申し込み、自ら取材。壁新聞に取材成果をまとめて魅力を伝える活動を行っている。
- 今年度はβ本町橋の2周年イベントにて活動の発表を行った。

日付	活動内容
2023年4月12日	取材⑥天満橋駅取材
2023年5月12日	定例ミーティング（記録作成）
2023年6月9日	定例ミーティング（質問項目の検討）
2023年7月14日	定例ミーティング（発表準備）
2023年8月5日	取材⑦東警察署
2023年8月21日	定例ミーティング（発表準備）
2023年8月27日	β本町橋2周年イベントにて発表
2023年9月8日	定例ミーティング（記録作成・質問項目の検討）
2023年9月21日	取材⑧東横堀川水門事務所
2023年10月6日	定例ミーティング（質問項目の検討）
2023年11月9日	定例ミーティング（記録作成）
2023年12月15日	定例ミーティング（質問項目の検討）兼クリスマスパーティー
2024年1月5日	取材⑨清掃船取材
2024年1月12日	定例ミーティング（記録作成）
2024年1月19日	定例ミーティング（質問項目の検討）



βタウンエディターズの活動の様子



B.本町キッズポップフィルハーモニー楽団

- NPO特定非営利活動法人音楽文化振興会を母体とする子ども楽団。貧富の差なく本物の楽器を使う体験や音楽を通じて子どもの成長を育む活動を行っている。
- 毎週水曜日16時～18時までβ本町橋で活動している。
- 音楽活動以外にもβ本町橋の主催イベントに楽団で参加したり、界隈で開催されるマルシェへの出店や募金活動など幅広い活動の拠点となっている。



練習の様子



上級生が下級級の面倒をみる

C.まちこβ（まちと子どものβ本町橋）

- 地域の子どもたちに向けて開放する日を設け、家・学校・習い事以外のサードプレイスとして地域の子どもたちの居場所活動を始める。
- 地域をフィールドに自らの発意で考え、活動することで、より社会や環境に主体性を持って関わることができる子どもたちの学びと成長を目標に、活動を徐々に発展させていく予定である。

【まちこの活動】（予定）

- 週1回の活動
曜日：月曜日 時間：15:00-17:00
内容：自由開放、宿題や自由遊びが可能
- 月1回の活動
曜日：第2金曜日 時間：16:00-20:00
内容：みんなで宿題・自由遊び・プロジェクト活動・食事

■次年度の方針

- これまでの活動のノウハウとネットワークを活かし、子どもたちの居場所機能の強化、地域や環境（川、公園、橋など）との関わりを通じた学びを拡充する。

I. 事業の実施状況 7. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益目的事業）③学び

A. 学び・レクチャー

- β 本町橋の取り組みや水都大阪にまつわる歴史や人々の活動について、β 本町橋内外でレクチャーを行った。
- 日本旅行がとりまとめる水都大阪サスティナブルクルーズでは、40分間のクルーズで、サスティナブルな水都大阪について修学旅行や遠足の小学生～高校生にわかりやすい形式でレクチャーした。

日付	学校名
2023年6月14日	兵庫県 三田学園中学校
2023年9月3日	東京都 明星高等学校
2023年9月22日	兵庫県 滝川中学校
2023年10月19日	香川県 観音寺第一高等学校
2023年10月25日	福山市立 城南中学校
2023年11月7日	高知県 朝ヶ丘中学校
2023年11月15日	大坂京大付属天王寺小学校5年
2023年11月17日	名古屋市立工芸高等学校
2023年11月20日	兵庫県 三田学園中学校
2023年11月21日	南阿蘇村立南阿蘇中学校
2023年11月26日	仙台市立仙台高等学校
2024年1月24日	大牟田市立甘木中学校



サステナブルクルーズでは、水上バスさんの協力のもと大阪の河川の水を組み、その水質を生徒のみなさんに知ってもらう取り組みを行っている

B. 視察受け入れ

- 自治体や企業、大学からの視察を受け入れており、今年度は海外からの視察や東京など水辺の利活用に取り組む主体からの視察が増えた。
- 視察は有料で実施しているが、行政や大学、子ども関係など公的な団体については無償で視察を受け付けている。

日付	分類	視察者
2023年4月27日	自治体関連（海外）	ソウル水環境局長
2023年6月16日	団体	一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
2023年6月22日	大学	大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 建築・都市デザイン学講座 建築・都市計画論領域 松原研究室
2023年7月2日	子ども	
2023年10月3日	企業	T建設株式会社
2023年10月26日	企業	T株式会社
2023年11月1日	企業	K電鉄株式会社
2023年11月10日	団体研修会	大阪府都市整備推進センター
2023年12月5日	自治体関連（海外）	韓国政府
2023年12月19日	自治体関連	名古屋市名港開発振興課



ウッドデザイン協会の視察報告レポート

I. 事業の実施状況 7. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益目的事業）④清掃活動

地域と連携したお掃除プロジェクト

- β本町橋の位置する公園の公園愛護会である東横堀川水辺再生協議会や本町橋100年会、中大江西連合町会、界隈の店舗・事業者、地域住民らと連携し、β本町橋や東横堀川界隈の清掃活動を行い、地域との協働による美化・清掃活動を実施。
- 清掃活動の後は、β本町橋リビングにてお茶を飲みながら「最近あった嬉しかったこと」「最近驚いたこと」などを話しながら交流・コミュニケーションを大切に活動を展開。
- 岡山県、東京都など遠方から参加される方もいる。

【実施時期】

毎週日曜 AM10~AM11

毎月14日 AM8:30~



	日付	参加人数	内容等
2023年	4月2日	8	掃除・植付
	4月9日	5	
	4月14日	0	定期清掃は雨天で中止
	4月16日	12	エディブルガーデン
	4月23日	9	
	4月30日	3	
	5月12日	7	定期清掃
	5月14日	3	雨
	5月21日	7	岡山県から参加も
	5月28日	61	本町橋橋洗い 清掃
	6月3日	80	平野橋橋洗い
	6月11日	0	大雨
	6月14日	12	定期清掃
	6月18日	10	東京からの視察者も参加
	6月25日	5	岡山県から参加も
	7月2日	9	
	7月9日	0	イベント準備のため中止
	7月14日	16	定期清掃 水門工事
	7月16日	6	
	7月23日	7	岡山県から参加も
	7月30日	7	みんなの公園愛護会
	8月20日	6	
	8月27日	10	2周年/学生3名
	9月3日	0	
	9月10日	10	
	9月14日	12	定期清掃 水門工事
	9月17日	9	芝刈り
	9月24日	8	
	10月1日	7	
	10月15日	7	
	10月22日	30	オータムフェス 子どもがたくさん来る
	10月29日	10	
	11月5日	14	
	11月12日	5	
	11月14日	15	定期清掃 水門工事
	11月19日	10	
	11月26日	9	クリスマスツリーの設置
	12月3日	8	
	12月10日	6	
	12月14日	12	定期清掃 水門工事
2024年	1月7日	4	ぜんざい
	1月12日	10	定期清掃
	1月21日	2	雨
	1月28日	6	
延べ人数		477	

I. 事業の実施状況 7. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益目的事業）⑤交流

交流事業

- β本町橋と関わる人を増やすこと、また関わっている人をつなぎ、交流を促進することで、新たな水辺・まち・人の可能性を育てるため、周年事業、定期セミナー、エリア交流会などを実施した。

A.β本町橋 周年事業

【実施時期】

- 8月27日(日)

【実施内容】

- 2周年イベントとして、水上・陸上ともにプログラムを充実させ、地域の子どもから大人までが気軽に水辺を楽しめる1日とした。(約300名来場)



2周年の様子 川でSUPポートを楽しむ親子



のき先での縁日を行った



ラボではジャズの演奏

B.ウイスキーナイト

【実施内容】

- (一社)水辺ラボメンバーが講師となって定期開催している“ウイスキーナイト”は毎月1回開催する人気の定番プログラムとなっている。
- 講座の後の参加者同士の交流会も人気となっている。

ウイスキーナイト実施状況

- #16 ジャパニーズウイスキー「サントリー」(4/28)
- #17 ジャパニーズウイスキー「ニッカ」(5/24)
- #18 ジャパニーズウイスキー「クラフトウイスキー」(6/23)
- #19 5大ウイスキー以外のウイスキー(7/28)
- #20 20回記念・マスターおすすめのウイスキー(8/25)
- #21 世界の5大ウイスキー(10/27)
- #22 スコッチウイスキーの紹介(11/24)
- #23 スコッチウイスキー「ハイランド特集」(12/20)
- #24 スコッチウイスキー「スペイン川流域」(1/26)



ウイスキー講座の後は、ウイスキーを飲みながら交流会をおこなっている

C.船場サロン

【実施内容】

- 船場エリアと連携し、地域活動している団体・個人の人材の循環、新しい担い手発掘の場として、横のつながりをつくる「船場サロン」を開催した。
- 会場はβ本町橋・伏見ビル・ナカセンバカフェの3か所で順番に開催。この場での交流が新しい活動に広がっている。

船場サロン実施状況

- | | | | |
|-------|------|----------|-------|
| 4/18 | 18時～ | β本町橋 | 22名参加 |
| 5/18 | 18時～ | ナカセンバカフェ | 20名参加 |
| 9/18 | 18時～ | ナカセンバカフェ | 9名参加 |
| 10/18 | 18時～ | 伏見ビル | 17名参加 |
| 11/28 | 18時～ | β本町橋 | 11名参加 |
| 12/18 | 18時～ | ナカセンバカフェ | 19名参加 |
| 1/18 | 18時～ | 伏見ビル | 17名参加 |



- 次年度の方針 ・水辺の拠点として地域の方から観光客まで気軽にコミュニケーションがとれるプログラムの実施を継続する。

I. 事業の実施状況 7. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益目的事業）⑥まちづくり

A.東横堀川調査・社会実験への協力

- ・昨年度に引き続き水都大阪コンソーシアムによる「東横堀川における水都大阪の新たなシンボル空間創出調査研究」における東横堀川利活用のアイデア公募「東横堀川ING」で活動している2プログラムの活動に協力した。
- ・本町橋～農人橋間の護岸耐震改修工事に合わせ、東横堀川の水上・水辺の新たな可能性・新たな魅力づくりのため実施した社会実験「東横堀川ING2023春」においてクイズラリーと施設内での展示を行うとともに、実施に関する備品支援を行い、水辺での活動の輪の広がり貢献した。

①東横堀川INGプロジェクト

①-1. スウェーデントーチ

【実施時期】

・12/19(火)

【実施内容】

- ・β本町橋の軒下にて冬シーズン初のスウェーデントーチを実施。メンバーによる今後の活動方法などのミーティングとしても活用された。
- ・東横堀川ING2023春・秋やナカセンバカフェと連携したイベントへの参加の際に備品を貸与した。



軒下で実施したスウェーデントーチ



他の拠点と連携した実施

①-2. エディブルパーク

【実施時期】

・4/1～ 継続実施中

【実施内容】

- ・β本町橋の南側の公園内にプランターを設置し、野菜やハーブなど食べられる植物を植え、地域住民や働く人と育成から収穫までを交流しながら学んだ。
- ・水やりや収穫された野菜の配布など日頃のお世話も協力した。



子どもたちと一緒に種をまいた



春に植えた種が育ってきた様子

②東横堀川ING2023春

【実施時期】

・5/28(日)～6/4(日)

【実施内容】

- ・社会実験エリア内で東横堀川にまつわるクイズを解くクイズラリーを実施し、大人から子どもまで楽しみながら東横堀川について学んでもらった。
- ・ラボにて「東横堀川でやってみたいこと」などを記入する体験型の展示を行った。



東横堀川博士になれるクイズ



MAP型の大型展示

B.官民連携まちなか再生推進事業“東横堀川水辺プラットフォーム検討会”のスタート

- ・国土交通省の官民連携まちなか再生事業に採択され、大阪市と連携し、官民連携で東横堀川の水辺のまちづくりを検討する“東横堀川水辺プラットフォーム検討会”を立ち上げた。
- ・β本町橋のネットワークやノウハウを活かし、行政・民間・市民をつなぐコーディネーターとして事務局を務めている。
- ・社会実験「東横堀川ING2023春・秋」や市民意向把握と認知度向上のためのフィールドワーク「東横堀川100人探検隊」などを行いながら、行政・民間・市民をつなぎながら未来ビジョンとしてこれからの東横堀川のあり方について検討を進めている。



普段は入れない場所に向かう参加者

■次年度の方針

- ・東横堀川で活動したい人の輪を広げられる場、実験できる場所として、東横堀川のまちづくり拠点としての機能を強化する。
- ・東横堀川水辺プラットフォーム検討会の事務局として、行政・民間・市民をつなぎながら、官民連携で東横堀川のまちづくりの未来ビジョンを引き続き検討する。

I. 事業の実施状況 8. 広報活動

- Webサイト・Instagram・Facebook・X (Twitter) を運用し、月間スケジュールを記載した“β通信”を町会の回覧板で回覧してもらうなど、多様な属性に向けて多様なメディアを活用して情報を発信中。

フォロワー数 (2/9時点)
Instagram: 2,407人
Facebook: 735人
X(Twitter): 127人

①メディア掲載

30件掲載

(テレビ8件、WEB記事10件、新聞6件、フリーペーパー・雑誌4件、ラジオ・SNS・Podcast2件)



テレビ: NHK 生中継



雑誌: SAVVY

②情報を伝えるカレンダー

2024年1月より施設情報を伝えるための2週間カレンダーを掲出。休館日やランチの休みなど基本情報をわかりやすく伝えている。



③地域と連携したβ通信配布

毎月1回 約200部発行

中大江西連合町会・東横堀川水辺再生協議会など、地域のご協力を得て、回覧板や掲示板、まちのスポットなどで掲示・配布。



日付	メディア	内容・タイトル
2023年4月14日	新聞	毎日新聞 朝刊にて川びらきの実施報告を掲載
2023年6月15日	新聞	日本経済新聞 朝刊にて本町橋の歴史と110年記念の橋洗いの様子を掲載
2023年6月20日	テレビ	朝日放送 「おはよう朝日です」1文字にゅーす」夏の納涼水上ピクニック
2023年7月1日	テレビ	NHK 「ウィークエンド関西 西日本の旅」ガイドツアー道頓堀コース
2023年7月21日	雑誌	京阪神エルマガジン社 「SAVVY」北浜特集にてβ本町橋を紹介
2023年8月	フリーペーパー	大阪シティ信用金庫 せんだぎ8月号にてβ本町橋を紹介
2023年8月	WEB記事	JTB 訪日外国人向けブログ「Kansai chan」にてガイドツアー道頓堀コース
2023年8月	WEB記事	大阪観光局 情報サイトOSAKA INFOにて夏の納涼水上ピクニック
2023年8月	WEB記事	(株)ブランジスタメディア 情報サイト旅色にて施設やアクティビティ、飲食の紹介
2023年9月1日	テレビ	読売テレビ 「す・またん!」大川・土佐堀川をSUPに乗って生中継
2023年9月15日	テレビ	朝日放送 「おはよう朝日です」水上ピクニック放送予定が阪神優勝特番で中止
2023年9月24日	新聞	読売新聞 夏の納涼水上ピクニック
2023年9月25日	新聞	神戸新聞 兵庫運河まつり 水上さんぽ体験
2023年9月26日	WEB記事	京阪神エルマガジン社 関西を24時間遊べるWEBマガジン「Lmaga.jp」にて東横堀川の整備について
2023年10月	新聞	共同通信社加盟の新聞社 秋の水上ピクニック
2023年11月	WEB記事	Yahoo! ニュース 博報堂 嶋浩一郎の紹介記事 ことつ水上ピクニック
2023年11月8日	テレビ	関西テレビ 「よーいドン!となりの人間国宝さん」で人間国宝に認定
2023年11月30日	フリーペーパー	朝日新聞系列 「朝日ファミリー Premium W-Style」(阪神版、北摂版) 冬号
2023年12月	雑誌	昭文社 「まっふるマガジン大阪25」ガイドツアー道頓堀コース
2023年12月	WEB記事	Osaka Metro 観光情報サイト「NINE」イベントカレンダーにてことつ水上ピクニック
2023年12月13日	ラジオ	tbc東北放送 「en Voyage(エン・ボヤージュ)」全国の〇〇協会の活動紹介として生出演
2023年12月14日	新聞	週刊大阪日日新聞 ことつ水上ピクニック
2023年12月18日	テレビ	朝日放送 「news おかえり」古川アナがことつ水上ピクニックを体験紹介
2023年12月18日	ラジオ	NHK ラジオ放送 「関西ラジオワイド」ことつ水上ピクニック生出演
2024年1月	WEB記事	関西電力 情報メディア「WITH YOU」にてことつ水上ピクニック
2024年1月12日	テレビ	NHK 「ニュースほっと関西」ことつ水上ピクニックをアナウンサーが生中継
2024年1月18日	WEB記事	ビッグイシュー日本版 「THE BIG ISSUE online」にて大阪ホームレスクリスマスパーティーの開催報告
2024年1月19日	WEB記事	関西電力 情報メディア「WITH YOU」にてことつ水上ピクニックの体験レポート
2024年1月26日	WEB記事	Osaka Metro 観光情報サイト「NINE」にて冬の水上さんぽガイドツアー道頓堀コースを紹介
2024年1月27日	テレビ	NHK 「ウィークエンド関西」冬の水上さんぽガイドツアー道頓堀コースを写真で紹介

■次年度の方針 ・これまでの取り組みを継続しながら、地域への周知の拡充、テーマ型でクラウドファンディングを活用したファンづくりの取り組みも展開して広く発信する。

■次年度スケジュール

- ・事業計画1. 水辺・まち・人をつなぐカワフロアから6. 維持管理事業および9. 広報については年間を通して実施する。
- ・7. 地域連携事業および8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業については、以下のスケジュールで実施する。

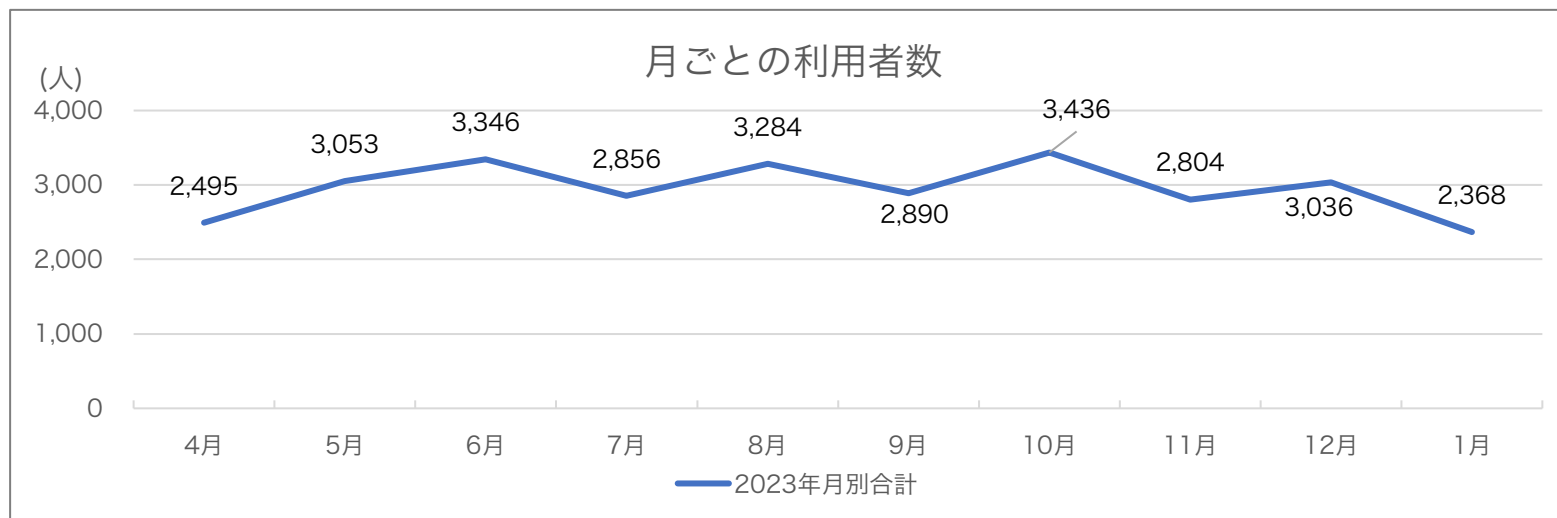
事業	備考	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
7. 地域連携事業	①主催イベント								◎ オータム フェス				◎ 春の 川びらき
	②地域連携イベント			↔ eよこ逍遥・ アニバーサリー				⇄ イケフェス	⇄ 船場博覧会				
8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業	①学校連携：通年												
	②子ども：通年												
	③学び（視察対応、講演）：通年												
	④清掃活動：毎週日曜、毎月14日												
	⑤交流：月1回～適宜開催	 ◎ 周年イベント											
	⑥まちづくり：適宜協力・実施	検討会・担当者ワーキング事務局運営 ← 検討会社会実験協力（予定） 本町橋～農人橋護岸改修工事											

Ⅱ. まとめ 1. 全体の利用状況

- ・2023年4月～2024年1月の施設利用者数及び公園利用者数（推計）を合わせた利用状況は、10ヶ月で29,568人の利用。
- ・季節の良い春や秋の利用が多い傾向は変わらないが、昨年度よりも季節による差が減少してきている。

		2022年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	合計（人）
施設	飲食・物販	928	1,494	1,622	1,128	1,002	800	1,178	1,061	947	706	10,866
	全館イベント	240	0	0	0	300	440	480	0	200	0	1,660
	水辺ラボ事業	81	101	116	67	70	63	72	72	37	62	741
	レンタル・シェアスペース	236	391	497	514	562	451	502	596	799	515	5,063
	SUP	90	117	181	207	384	236	244	175	123	155	1,912
	クルーズ	20	20	30	10	36	0	30	0	0	0	146
公園	公園利用者	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	9,180
月別合計		2,495	3,053	3,346	2,856	3,284	2,890	3,436	2,804	3,036	2,368	29,568

※公園利用は、東横堀川緑道の利用を一日あたり30名とした推計値



II. まとめ 2. 事業効果（β本町橋の価値・ユーザーの声より）について

Q. β本町橋ができて、あなたの暮らしにどんな変化がありましたか？

1. 自分達のまちは自分達の手でやりたいことが実現できる

βがあったからこそ「都会だから」と諦めていたことが、たくさんできていると思います。エディブルも焚き火も、一見都会とは相性が良くないように見えて、本質的には都会に求められていることなんだと、活動を通じて感じました！（アフター2025.エディブルパーク・樋口）

水辺の利活用実験に関わる中で、様々な場所で焚火の機会を持ちました。コミュニケーションの生まれ方について考えるきっかけになり、なんだか『まちを見る目』が変わった気がします。（アフター2025.スウェーデンーチ・繁澤）



2. 地域のウェルビーイング

毎週日曜のお掃除に参加すると、色々な人と出会うことが大きな魅力です。最近住み始めた人、昔から住んでいる人、通勤している人、ひとり暮らしの高齢者、色々な方とお話できるのが貴重な体験です。（お掃除クラブ・上野）



3. 子どもや若者が伸び伸びできる

地域で子供やお母さん達が気軽に交流できる場所がなく探していたところ、βさんに出会い、まさに時代に合った交流の場と感じています。子供達を集めてやってみたいとおもっていたイベントを開催することができました！（アキナイキッズ・正畑）

小学生の立場で、近所のお店や公共施設に携わる方の"生"のお話が伺えるのは貴重な体験です。お宅をお借りした活動ではないので、気軽に集まる事ができ、息抜きに敷地内で外遊びもできるので、毎回楽しみに来ています。（βタウンエディターズ・矢部）

小学生（とその親）が定期的に集まって活動する拠点として、誰かの家にお邪魔するのではなく、フラットに集まれて、飲食も可能で、とってもありがたい。β本町橋のような場所があるおかげで、活動が楽しく継続できています。（βタウンエディターズ・阪口）

β本町橋でお客様の前で漫才をさせて頂くことで、場数を踏むだけでなく漫才をさせて頂いたおかげで、そこから繋がりが出て劇場に沢山の方が応援に来てくださるようになりました！！（松竹芸能 マッカン）



4. 生き物や環境にやさしい

魚のすみ方について調べることで、河川的环境を知ることができました。河川からまちへの新たなアプローチ方法を考えるようになりました。（近畿大学大学院1年・中森）



6. シビックプライドの醸成

お掃除への参加を通じて、色々な人たちが暮らしやすく楽しい街や水辺を作ろうと努力していることを知りました。そして自分達もその活動の一端に参加できることを知り、街を見る目や街づくりへの意識が変わりました。（お掃除クラブ・筒井）

5. イノベーションと創造

何か新しいことをしよう、チャレンジしようと思うときはβ本町橋を使っています。申請すれば屋外空間まで使えたり、屋台もあってチャレンジしやすい環境です。また、親身に相談に乗ってくれる素敵なスタッフもいてくれて、いつも安心して挑戦させてもらっています。（カモメラボ・今村）

社内交流会や外部交流会で活用させていただきました。他の場所では感じられない空気の抜け方や光の入り方は、都会の中にあることを忘れさせてくれる。βならではの空間の魅力です。その魅力は交流を促進する力を感じます。（大阪産業創造館・佐藤）



Ⅱ. まとめ 3. 事業効果（成果と課題）について

<維持管理事業>

維持管理協定(案)に基づき、事故やクレームもなく、安心・安全な公園と水面の維持管理を実施した。

<収益事業>

日常的な賑わいづくりに関しては、夜営業や宴会对応、定期利用など事業の再構築をすることで事業性を確保し、次の展開への準備ができた。今後、来街者に向けて日常的な賑わいを楽しんでもらえる展示や物販などを充実しながら、ウェディング利用など日常を彩るハレの日の活用を強化する。

水辺の賑わいづくりに関しては、水門や護岸の工事がありながらも、関係者の協力を得ながら、水上アクティビティを中心に事業を育てることができた。今後、水上キャンプなど観光客を対象とした新しいプログラムの充実を図るとともに、新艇を生かしたクルーズを強化していく。

<公益目的事業>

地域の拠点としての活動を継続しながら収益性とのバランスを取るため、定着するものや重点的に取り組みたいものに取捨選択し、活動を育てることができた。特にまちづくり活動に注力したことによって、**β**本町橋だけではなく東横堀川全体の公民連携体制づくりに貢献することができた。今後も補助金の獲得などに努めながら、公益目的事業を発展させていきたい。